

老人ホーム高社寮耐震診断調査について

北信広域連合事務局

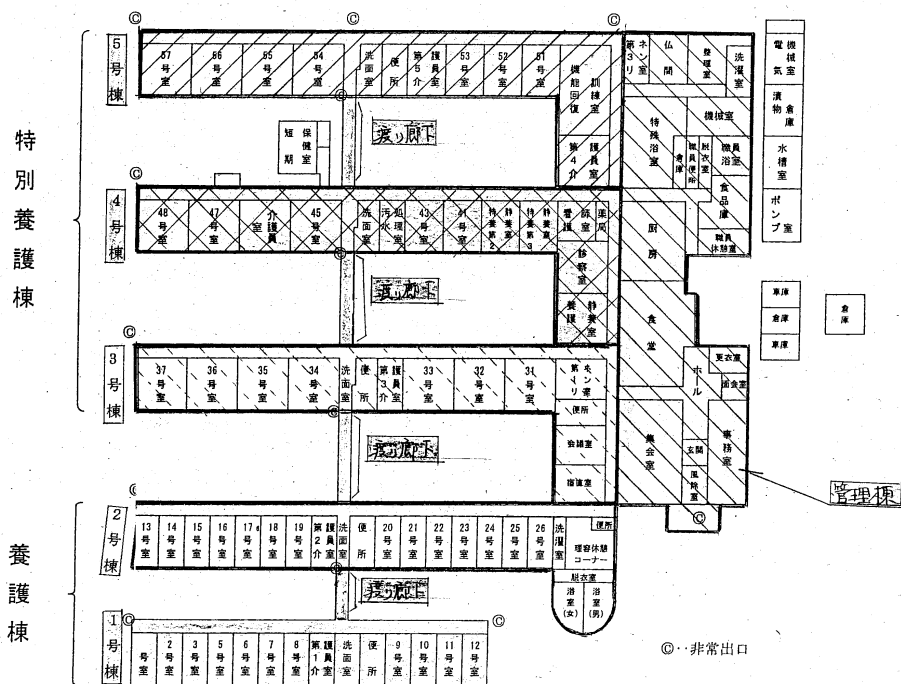
1 調査概要

- (1) 昭和 56 年以前の旧耐震基準で建築された老人ホーム高社寮について、国土交通省住宅局建築指導課監修の「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」による診断を行い、耐震性能を判定する。
- (2) 耐震診断結果、必要な構造耐震指標を満足しない場合は、補強方法を検討のうえ、補強方法の提案を行う。

2 調査施設

棟	構造	延床面積	地上階数	建築年度
管理棟	RC 造	1498.5 m ²	1	昭和 5 5 年度
寮室棟 1	RC 造	300.5 m ²	1	昭和 5 5 年度
寮室棟 2	RC 造	367.6 m ²	1	昭和 5 5 年度
寮室棟 3～5	RC 造	1175.1 m ²	1	昭和 5 5 年度
渡り廊下	S 造	88.2 m ²	1	昭和 5 5 年度

老人ホーム高社寮配置図



3 診断結果

	X方向（東西方向）			Y方向（南北方向）		
	Is 値	Ctu・SD 値	q 値	Is 値	Ctu・SD 値	q 値
1号棟（RC造）	2.00	2.09		3.55	3.71	
4号棟（RC造）	1.31	0.85		3.60	3.77	
管理棟（RC造）	1.88	1.97		1.91	1.99	
浴室棟（壁式RC造）	2.80	2.93		3.95	4.13	
渡り廊下（S造）	1.64		2.27	1.64		2.27

※1 判定値（2次診断、用途係数1.25）

- ・ Is 値 > 0.75（強度指標と靱性指標、経年指標、形状指標を考慮した数値）
- ・ Ctu・SD 値 > 0.375（累加強度指標×形状指標）
- ・ q 値 > 1.25（保有水平耐力指標）

※2 浴室棟は1次診断 Is 値 > 1.00、Ctu・SD 値 > 0.375

※3 2号棟は1号と、3，5号棟は4号棟と同構造であり1，4号棟に準じて問題ない。

◎ 全棟で判定値を満足し、耐震性は高い。